

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間北海道の水辺の
観光情報サイトかわたび
ほっかいどう

同時発表：長沼町

令和4年2月15日

舞鶴遊水地から広がるタンチョウも住めるまちづくり！

～「第7回タンチョウも住めるまちづくり検討協議会」を開催します～

「タンチョウも住めるまちづくり」の取組を進めるため、「第7回タンチョウも住めるまちづくり検討協議会」を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

長沼町及び札幌開発建設部では、地域の多様な主体の参画のもと、千歳川の新たなグリーンインフラである舞鶴遊水地を軸としたタンチョウも住めるまちづくりのあり方やその達成手法について検討する「タンチョウも住めるまちづくり検討協議会」を設立し、2つの部会「生息環境専門部会」「地域づくり専門部会」により取組を推進しています。

記

1. 開催日時 令和4年2月17日（木） 15：00～17：00

「タンチョウも住めるまちづくり」
ロゴマーク

2. 開催方法 WEB形式（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため）

3. 議 題 タンチョウの飛来・繁殖状況
生息環境専門部会の取組状況、地域づくり専門部会の取組状況について等

4. その他 報道機関の方に限り、札幌開発建設部 分庁舎 A会議室にて傍聴が可能です。
取材を希望される方は、別添「取材申込書」に必要事項をご記入の上、
令和4年2月16日（水）16時までに下記メールアドレス宛てに送付ください。
※送付先メールアドレス：hkd-sp-tancho2021@gxb.mlit.go.jp

※会議資料および議事要旨は、後日札幌開発建設部のホームページに掲載します。
(https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen_keikaku/kluhh4000001qwn.html)

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

河川計画課 課長 工藤 拓也（電話番号 011-611-0329 ダイヤルイン）

河川計画課 調査官 高橋 賢司（電話番号 011-611-0329 ダイヤルイン）

札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>



取材申込書

<入力事項>

氏名	
所属(会社名)	
電話番号	
メールアドレス	

<送信先>

札幌開発建設部河川計画課

メールアドレス:hkd-sp-tancho2021@gxb.mlit.go.jp

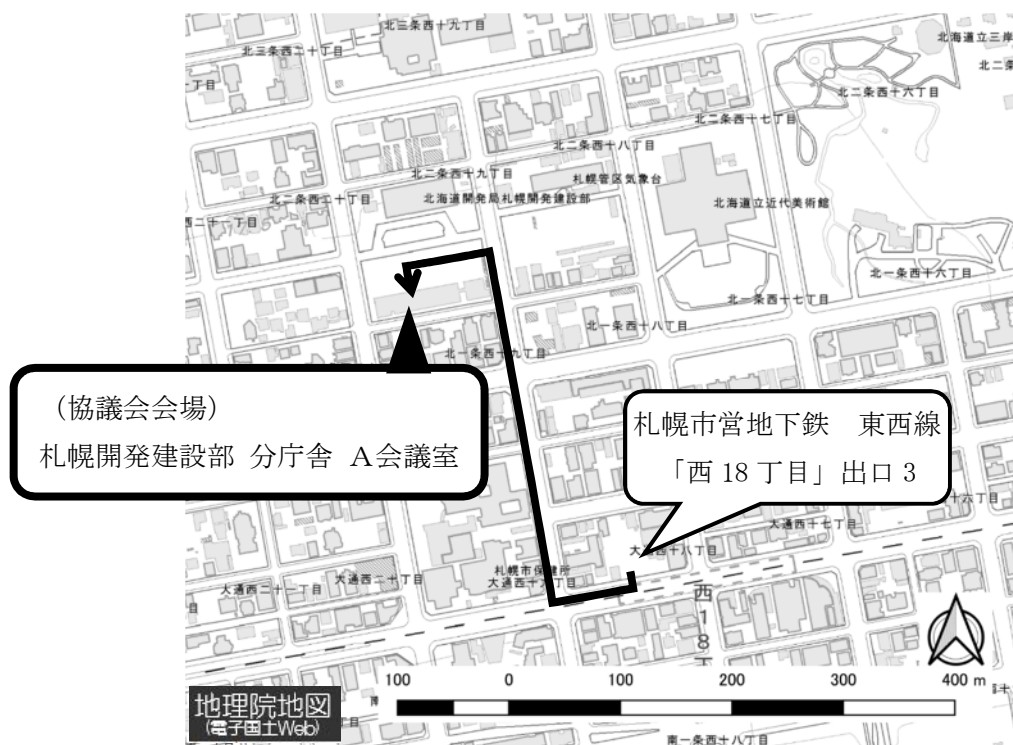
<注意事項>

- ・カメラ撮影は会議冒頭部分のみでお願いします。会議は全体通して取材可能です。
 - ・令和4年2月16日(水)16時までに、メールにて本取材申込書を送付ください。
- ※ご提供いただいた個人情報は当日の参加確認に使用させていただき、他の目的には使用いたしません。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会議室への入室者を制限しております。申し込み多数の場合、お断りすることがありますのであらかじめご了承ください。
 - ・各社必要最低限の人数とし「手洗い」や「マスク着用を含む咳エチケット」等の感染症拡大防止対策にご協力をお願いします。
 - ・申し込み受領後確認メールを送付させていただきます。確認メールが届かない場合は、電話(011-611-0329)にてお問い合わせください。

会場案内図

第7回タンチョウも住めるまちづくり検討協議会

場 所：札幌開発建設部 分庁舎 A会議室（札幌市中央区北2条西19丁目）



タンチョウも住めるまちづくり検討協議会における検討体制

■タンチョウも住めるまちづくり検討協議会

【目的】多様な主体の連携と協働による舞鶴遊水地を軸とした「舞鶴遊水地を軸としたタンチョウも住めるまちづくり」の取組を通じて、にぎわいがあり、経済の好循環が実感できる地域の実現

構成員：有識者、関係行政機関、町内関係団体 等
事務局：札幌開発建設部、長沼町

【検討事項】

- 舞鶴遊水地を軸としたタンチョウの生息環境構築
 - タンチョウをシンボルとした農産業・観光施策の促進
 - タンチョウを活かした環境教育・市民参加の促進
- 等

■長沼町 タンチョウとの共生検討会議

構成員：有識者、町内関係団体 等
アドバイザー：有識者、関係行政機関 等
事務局：長沼町



■生息環境専門部会

【目的】タンチョウも住めるまちづくりの推進を図るため、タンチョウの生息環境を構築する

構成員：有識者、関係行政機関 等
事務局：札幌開発建設部（補助：長沼町）

【検討事項】

- 遊水地及び周辺におけるタンチョウの生息環境構築（当面は営巣を想定）
- 生息環境に配慮した社会ルールの定着に向けた方策検討

■地域づくり専門部会

【目的】タンチョウも住めるまちづくりの推進を図るため、タンチョウをシンボルとした農産業・観光施策を展開する

構成員：有識者、町内関係団体 等
事務局：長沼町（補助：札幌開発建設部）

【検討事項】

- 地域資源情報のとりまとめ及び共有
- 各産業による地域資源の活用
- 環境教育の促進
- 住民参加の促進
- 観光交流の促進

WG